

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月8日

【評価実施概要】

事業所番号	2990700011
法人名	有限会社 白菊の里
事業所名	グル-ブホーム白寿荘
所在地	奈良県五條市今井1-1-15 (電話) 0747-23-0120
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年10月28日

【情報提供票より】(20年10月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18人	常勤	10人, 非常勤 8人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺 造り		
	2階建ての	1階	~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円) 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月10日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	7名	要介護2	6名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	1名		
年齢	平均 80.8歳	最低	50歳		95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中西クリニック・関谷外科胃腸科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、近くに商店街や大型店のある住宅地に木造2階建てで新築開所されました。周辺の住宅と調和のとれた建物で、内装は木材をふんだんに使い温もりが感じられ、清掃も行き届き清潔感が溢れています。入居者は、特技や能力等を生かしながら自分のペース・リズムの中で穏やかに生活されています。職員も自立支援の基本理念を常に意識し適切な支援に努められています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議を設置され、課題等の解決やサービスの質向上に向けて幅広い意見交換がなされるようになりました。また、自己評価に際して、課題の把握と質の向上に取り組む機会と捉え職員の参画の下に実施されました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスの自己評価の意義・目的を正しく認識され、全職員が目的意識をしっかりと持って参画し、暮らしに活かす事とされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議規定を制定し、事業活動の報告は勿論、会議のあり方や処遇方針等幅広く意見交換がなされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時に不安を感じられている事や意見・要望等について聞き出す取り組みや家族会での意見聴取がなされ、出された意見等を検証し適切な対応と運営に活かす取り組みがなされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	入居者の生活は事業所内で全てが完結するものでない事や事業所も地域社会の一員であると認識され地域の行事に参加されその広がりが見られます。地域との関りの第一歩は自治会との良好な関係の構築にあるとの思いから積極的に自治会加入を働きかけがなされていますが、加入条件面での調整が難航し未加入の状態にありますので、今後は、これらの克服に努める等更なる地域の連携強化を期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会との関りを大切とする運営理念が作られており、入居者が地域の中で暮らし続ける支援と共に地域福祉の向上を目指した取り組みがなされています。		運営規定は、事業所が目指す方向等を示すものでありますので、運営の方針の中にも「地域住民との交流」の視点を明確に明記される事が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念の徹底と理解を図り実践に活かすため、定例の会議や引継ぎ時に確認し合うと共に玄関に理念の掲出がなされ、出勤時に黙読を励行する取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者の生活は事業所内で全てが完結するものでないとの認識の下、地域の行事に参加されその広がりが見られます。なお、自治会に未加入の状態にあることから情報等の入手に苦労されている状況が見られます。		事業所も地域社会の一員であると認識し自治会加入への働きかけがなされていますが、加入条件面の調整が難航していることから、さらなる解決への努力を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、自己評価に当たっては職員が目的意識を持って参画し、暮らしの支援に活かす様に努められています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議設置規定が制定され、行政職員や地元代表者・家族代表等で構成する会議が開催され、幅広い意見交換等がなされています。		運営推進会議は2月に1度開催することを基本とし、家族等の都合から書面報告の時も考えられていますが、開設後2年で解決すべき課題等もあると思料しますので、会議のあり方への検討を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスに位置づけられ行政との連携は不可欠と考え、定期的に訪問し相談・連絡を密にされています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日常的な暮らしの様子は定期的に報告されているほか、家族の訪問時にも報告がなされています。なお、健康状態に変化が見られる時には、その都度連絡・相談されています。		定期刊行物の発刊計画がありますので、実現を期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に意見・希望等を聞きだす取り組みや家族会で意見を聴取し、出された意見等を検証し運営に反映する事とされています。なお、苦情・相談担当者を明確にしきめ細かく対応されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の維持・継続を図る上で馴染みの関係作りは大切との考えがあり、職員の配置には十分に留意されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員採用時の事業所内研修やレベルに応じた外部研修の受講により職員の育成が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同業者や福祉関係施設とのネットワークを構築し、情報交換等を通じて職員及びサービスの質の向上に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居は本人の納得が前提であることから、入居予定者の生活歴等の十分な把握と見学時での馴染みの関係作りを工夫し、スムーズな移行に繋げる取り組みがされています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>基本理念の一つである「個人の意思の尊重」を基本に、入居者の言動をしっかり受け止め、本人の状態に合わせ協働しながら和やかに生活できるように場面づくりや声かけをされています。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族の訪問時における聞き取りや本人の暮らしの中での言動に注意を払い、得られた情報の分析と蓄積及び共有化に努められています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、本人がより良く暮らして行くためのものである事から、入居者の思いや意向を汲み取り、必要時は家族や関係者と連携を図り作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3月～6月と期間を定めて見直しを行い、入居者の身体的・精神的な状態に変化が見られる時には、家族やかかりつけ医等と相談され随時に計画が見直されています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	小人数制の特性を活かし、家族の協力も得ながら通院や買い物等に柔軟な対応がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には協力医院で受診する事とされていますが、かかりつけ医を希望される際には、家族の協力を得て柔軟な支援に努められています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期への対応については、入居時に事業所が対応できる最大限について説明され了解を得ておられません。		家族や本人にとって終末期の問題は大きな関心事と思われるので、状態の変化に応じて話し合いされる事を期待します。また、関係者との連携への取り組み強化を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	運営理念の一つが「個人の意思や人格の尊重」にあり、入居者の性格や精神状態及び思いを常に把握し、適切な対応に努められています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活の目安とする時間設定はありますが、入居者の気分・体調に合わせて支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は生活の中の喜びの一つであることから、嗜好調査をされると共に、入居者の能力に合わせ、調理や配膳等に協働され職員も一緒に同じものを食べる等食事が楽しめる雰囲気や環境づくりに努められています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や時間帯の決まりは無く、入居者のペースや希望にあわせた支援がなされています。また、夜間への対応もなされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や意向を十分把握され、一人ひとりの潜在的な能力が発揮できる場面(清掃・食事準備・洗濯・菜園管理と収穫等)の提供や趣味の時間の設定など生活の安定と充実に努められています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は心身の活性に効果があることから、買い物や周辺の散歩等を一人ひとりの状況を見ながら支援がなされています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	しっかりした見守りがなされ、昼間の玄関は常に開錠されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急通報装置の設置や定期的な防火訓練を実施されていますが、避難訓練を実施する迄には至っていません。		火災等の発生時には、入居者を屋外へ迅速かつ安全に誘導する事が求められますので、地域社会との良好な関係の構築を図り安全確保への取り組みが望まれます。また、震災に備え最小必要物品の備蓄についての検討を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取・補給状況は詳細に記録され、栄養バランスについても管理栄養士によりチェックされています。なお、入居者の状態に合わせて調理方法を工夫されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用生活空間には自然光の取り入れなされ温もりが感じられます。また、浴室やトイレは清掃が行き届き異臭も無く快適な環境整備が図られています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、洋室と和室を準備され、入居者が選んだ居室に合わせて使い慣れた家具や好みの品を持ち込み安心して過ごせる場所となっています。		